

平成30年度 銚田市社会福祉協議会事業計画

<基本方針>

少子高齢化や核家族化の進行、併せて人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化により、社会的孤立や複合的な課題を抱える世帯や個人、地域が抱える福祉ニーズは多様化、複雑化しており、今後もその傾向は続くものと予想されます。

一方で、「一億総活躍プラン」では、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現が盛り込まれました。

また、平成30年度の介護保険制度改革では、「自立支援」や「地域包括ケアシステム」の推進がうたわれ、各種施策が地域福祉志向を強め、住民主体の地域づくりの重要性に注目が集まっています。

こうした状況の中、地域福祉を推進する団体である社協の果たす役割は、これまで以上に重要になってくることを強く認識し、地域コミュニティづくりの推進、ボランティア活動の活性化をふまえ、第3次地域福祉活動計画の策定に取り組んでまいります。

更には、改正社会福祉法に基づき、公益性の高い事業運営に努め、地域住民や行政、関係機関との連携を図りながら、地域の福祉課題に対する事業に着実に取り組み、市民だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します。

<重点施策事業>

(1) ボランティア活動センター事業の推進

ボランティアの育成や情報提供、新規ボランティアの発掘を行い、研修や交流会をとおり、活動の活性化に努めます。

(2) 地域活動支援センター事業の推進

障がいがあっても自分らしく、社会生活がおくれるようセンターへの通所をとおり、身体、知的、精神の3障がいの方へ就労環境の整備と日中の活動をサポートします。

<新規事業>

(1) 第3次地域福祉活動計画の策定

行政が策定する地域福祉計画と連携・協働し、地域住民及び福祉・保健等の関係団体が、地域福祉推進に主体的にかかわるための活動の計画を策定します。

(2) 生活支援体制整備事業

生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成やそのネットワーク化などを行う、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置を行い、地域づくり体制の整備に努めます。

(3) 出前茶サロン事業

大洋地区で出前サロン事業を行い、コミュニティの少ない地域で安否確認や情報収集に努めます。

平成30年度事業計画

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

1 社会福祉事業

(1)法人運営事業

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	組織の運営 役員会	本会の円滑な運営のため、計画の立案及び進捗の管理。並びに、組織・事業・財務の評価により、効果的・効率的な運営の推進を行う。	理事会(年4回) 5月、9月、12月、3月 評議員会(年4回) 6月、9月、12月、3月 監事会(年3回) 5月、11月、2月 評議員選任・解任委員会(必要に応じて)
	予算額 法人計上		
2	各種委員会	所管事項について、調査研究及び実践活動を行い、必要に応じて会長に意見を具申する。	企画財政委員会(年3回) 調査広報委員会(年4回) ボランティア活動センター運営委員会(年2回) 老人福祉センターともえ荘運営委員会(年2回)
	予算額 法人計上		
3	会員募集事業	銚田市の福祉推進にあたり財源確保のため、市民及び事業所に当会活動への理解を得、会員加入の促進を図る。	説明会：地域福祉推進会議(6月)を開催し、 3地区において、説明会を開催する。 推進期間：7月～8月 会費種別：一般、特別、法人・団体会員 目標額：13,250,000円
	予算額 663千円		
4	広報紙の発行 (社協だより)	福祉情報を発信する他、社協活動を周知するための広報・啓発を行う。	発行回数：年4回 発行部数：13,500部 配付先：各世帯、法人会員、公共施設など
	予算額 1,037千円		
5	ホームページの運営	より早い情報の発信を行うとともに事業等の紹介、財務諸表の開示を行う。	更新回数：適宜更新 ※必要に応じて、随時更新する。
	予算額 315千円		
6	第7回社会福祉大会	社会福祉の発展に寄与、功績のあった方々を顕彰するとともに、福祉コミュニティの形成を推進する契機として開催する。	第1部 式典 社会福祉功労者表彰 第2部 講演 講師 調整中
	予算額 1,765千円		
7	第3次地域福祉活動 計画策定 ※新規事業	地域住民及び福祉・保健等の関係団体が、地域福祉推進に主体的にかかわるための活動の計画を策定します。	地域福祉活動計画策定委員会(年3回) ワーキング部会(随時)
	予算額 2,779千円		

8	善意銀行事業	市民等からの善意による寄付金及び物品等の受入れ及び払出しを行う。	預託内容:金品預託、物品預託 預託区分:福祉基金、福祉一般、児童福祉、老人福祉、障害福祉等
	予算額 3,868 千円		

(2)ボランティアセンター事業

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	ボランティア活動センター事業	ボランティア情報の収集と発信。コーディネート業務や福祉教育、研修等の実施を図る。	(1)ボランティア活動の普及・推進 ボランティア登録と活動の斡旋 ボランティア保険加入 ボランティア活動のコーディネート
	予算額 2,777 千円		
2	腕まくり講座	趣味や技術の講座をとおり、新規ボランティアの発掘を図る。	対 象:市民対象 内 容:物づくり講座など 回 数:3 回
	予算額 85 千円		
3	ボランティアスキルアップ講習会	講習会をとおり、ボランティアに係る技術の習得や資質の向上を図る。	対 象:登録ボランティア 内 容:地域サポーター養成講座 回 数:2 回
	予算額 154 千円		
4	ウェルフェアサマースクール	早い時期から福祉に親しみを持てるよう学ぶ機会を提供する。	対 象:小学生高学年・中学生・高校生 内 容:手話、ボランティア講座など 回 数:5 回
	予算額 208 千円		
5	ボランティアグループ活動助成事業	ボランティア団体等の自主的な運営を支援し、地域福祉の推進を図る。	ボランティア保険助成 登録ボランティアに対し、ボランティア保険(350円)に対し、200 円を助成。加入促進を図る。 ボランティアグループ活動助成 登録ボランティア団体に対し月活動状況に応じて、助成金を交付する。
	予算額 811 千円		
6	福祉体験支援事業	福祉体験を通じて、高齢者や障害者等への理解を深める。	対 象:小・中学校(20 校)対象 内 容:インスタントシニア体験、車いす体験 アイマスク体験など
	予算額 234 千円		
7	福祉活動校支援事業	ボランティア活動を実践している学校に対し、助成金を交付し、活動を支援する。	対 象:小・中学校(20 校) 助成金:小学校 10,000 円+(100 円×児童数) 中学校 15,000 円+(100 円×生徒数)
	予算額 574 千円		

(3)高齢者福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	車いす等貸出事業	介護の利便性向上のため、機器の貸出を行う。	貸出物品:車いすの貸出、四点杖の貸出など 貸出料:無料
	予算額 法人計上		
2	福祉車両貸出事業	家族等が医療機関への送迎を行うため、福祉車両(車椅子送迎車)の貸出を行う。	貸出車両:福祉車両 4台 (普通車 2台、軽自動車 2台) 貸出料:無料。燃料代は、利用者負担。
	予算額 法人計上		
3	介護用品支給事業	在宅の高齢者等で常時紙オムツを使用している世帯に配付する。	対象者:要支援1以上で常時紙おむつを使用している方が介護している世帯で住民税 50,000 円以下の世帯 支給額:月額 1,500 円の介護支給券
	予算額 1,080 千円		
4	ひとり暮らし高齢者サロン事業	在宅のひとり暮らし高齢者に対して、孤独感の解消及び状態の確認を行う機会を確保する。	対象者:70歳以上のひとり暮らし高齢者 内容:運動、講座、会食等 回数:年 36 回(鉾田、旭、大洋 各 12 回) 参加費:300 円
	予算額 1,542 千円		
5	高齢者健康増進事業	スポーツ大会を通して、高齢者の交流並びに健康増進を図る。	地区予選:4月～6月 鉾田、旭、大洋地区で開催 本大会:6月 鉾田総合運動公園 種目:グランドゴルフ、輪投げ、ペタンクなど
	予算額 555 千円		
6	出前茶サロン事業 ※新規事業	出前でサロン事業を行い、コミュニティの少ない地域での安否確認や情報収集に努める。	開催時期:6.7.9.10月 2回/月
	予算額 153 千円		

(4)障害者(児)福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	スマイルフェスティバル in ほこた	障害者の社会参加を促進並びに、障害者同士やボランティアとの交流を促進する。	対象者:市内在住の障害者及び介助者 内容:スポーツ、ゲーム、会食など 参加費:無料 会場:鉾田総合公園体育館
	予算額 587 千円		

(5)ひとり親世帯等事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	新入学児童祝品事業	ひとり親世帯等で小学校新入学を迎える世帯の経済的支援を図る。	対象者:ひとり親世帯で小学校に入学する児童 内容:図書券による支給 祝品額:1世帯 20,000 円
	予算額 620 千円		

(6)低所得者福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な事業内容
1	緊急入院用具 給付事業	緊急的に入院し、入院用具を揃えられない方に必要物品を支給する。	対象者:ひとり暮らし高齢者、低所得世帯 内 容:パジャマ、下着、洗面用具など
	予算額 30 千円		
2	緊急食材貸付 支援事業	生活困窮世帯に食材等を貸し付けることで該当世帯を支援する。	対象者:生活が困窮した世帯 内 容:食材及び貸付金 貸付額:上限 30,000 円
	予算額 200 千円		
3	生活福祉資金 貸付事業	低所得世帯の自立更生を目的に聞き取りを行い、助言及び申請事務手続きを行う。	対象世帯:生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために、一時的な資金を要する世帯 貸付区分:総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金 審査機関:茨城県社会福祉協議会
	予算額 48 千円		
4	フードバンク事業	生活困窮世帯に食材を無償配布し支援する。	対象者:生活が困窮した世帯 内 容:米、みそ、醤油、缶詰、ラーメンなど
	予算額 (6)2 計上		

(7)地域福祉事業

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	心配ごと相談事業	広く住民の相談に応じるため、弁護士による専門的で適切な助言及び援助を行う。	相談回数:年 12 回 相談場所:銚田地区:銚田公民館(年 4 回) 旭 地区:学習等共用施設(年 4 回) 大洋地区:大洋公民館(年 4 回) 相 談 員:弁護士 2 名、心配ごと相談員 12 名 各回 弁護士1名 相談員3名で対応 相 談 料:無料 ※予め電話予約による。
	予算額 640 千円		
2	地域福祉推進費 助成事業	地域住民が主体的に実施する、地域交流事業等に助成をする。	対 象:行政区及び小学校区 助成額:均等割 20,000 円+(世帯数×100 円) 学校割:30,000 円
	予算額 1,800 千円		
3	ふれあいいきいき サロン事業	地域で暮らす高齢者等が仲間づくりや運動・講座等を実施することにより、健康増進や介護予防等を図る。	対象者:高齢者及び地域の住民、ボランティア 内 容:運動、講座、会食など 場 所:地区公民館など 助成金:参加者 10 名未満 (年額 20,000 円) 参加者 10 名以上 (年額 25,000 円)
	予算額 1,079 千円		

4	ふれあい電話事業	希望するひとり暮らし高齢者に対して、電話による安否確認、相談ごとなどの話を行い、高齢者の精神的不安の解消を図る。	対象者:ひとり暮らし高齢者等 内 容:傾聴ボランティアが安否確認のため、電話による相談等を行う。 回 数:月1回
	予算額 216千円		
5	備品貸出事業	地域のコミュニティ活動を支援するため、イベント等に備品の貸出を図る。	貸出備品:かき氷機、ポップコーン機、綿菓子機 臼、杵、テント等 利 用 料:無料
	予算額 法人計上		

(8)共同募金事業

番号	事業名等	目 的	具体的な実施内容
1	赤い羽根 共同募金運動	社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を図るため、市民の理解と協力により、募金活動を推進する。	期間:10月1日～12月31日 内容:戸別募金、大口募金、街頭募金、職域募金、学校募金など 募金:戸別募金(区長依頼) 法人・大口募金(民生委員児童委員依頼)
	予算額 H30.8 確定		
2	歳末たすけあい 見舞金事業	要援護世帯に明るいお正月を迎えてもらうよう、赤い羽根共同募金の一部を見舞金として配付する。また、市内障害者施設の交流事業に助成。	期間:12月1日～12月31日 内容:申請方式により、見舞金の配付を行う。 対象:(1)75歳以上のひとり暮らし高齢者 (2)要援護児童・生徒 (3)障害者手帳の交付を受けている方など 配分:民生委員を通して、該当者に配付する。 金額:歳末配分会議において、決定する。
	予算額 2,240千円		
3	共同募金配分金事業	戸別募金、大口募金の募金活動を推進する団体に対して、協力費を助成する。	協力団体: 銚田市区長会(3地区) 銚田市民生委員児童委員協議会(3地区) 助成額:1団体 50,000円
	予算額 345千円		

(9)居宅介護事業

番号	事業名等	目 的	具体的な実施内容
1	居宅介護支援事業	介護保険法に基づき、介護支援専門員が要支援、要介護認定者に対して支援計画の作成、相談援助を行う。	内 容:介護予防計画の作成 介護支援計画の作成 要介護認定の申請代行 契約者数見込み:95名程度 利用料:自己負担なし
	予算額 20,688千円		

2	障害者福祉 サービス事業	障害者総合支援法に基づき、障害者相談支援員が障害者(児)の支援計画の作成、相談援助を行う。	内 容:サービス等利用計画の作成 利用者宅を訪問し、アセスメントを行う。 契約者数見込み:61名程度 利用料:自己負担なし
	予算額 13,160千円		
3	訪問介護事業 (介護保険対応)	介護保険法に基づき、利用者の生活状況及び身体的状況に応じた、生活支援、身体介護、移動サービス等の提供を行う。	内 容:生活援助(調理、洗濯、掃除、買物など) 身体介護(入浴、排泄、食事介助など) 通院等乗降介助(通院、買物など) 契約者見込み:95名程度 利用料:要介護度、利用区分により異なる。
	予算額 35,095千円		
4	訪問介護事業 (障害者対応)	障害者総合支援法に基づき、利用者の生活状況及び身体的状況に応じた、生活支援、身体介護、行動援護、移動支援等の提供を行う。	内 容:生活援助(調理、洗濯、掃除、買物など) 身体介護(入浴、排泄、食事介助など) 行動援護(外出時、外出後の対応など) 通院等乗降介助(通院、買物など) 契約者見込み:15名程度 利用料:利用区分、所得に応じて異なる。
	予算額 訪問介護事業計上		

(10)地域活動支援センター事業

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	のぞみ運営事業	障害者総合支援法に基づき、知的及び身体障害者の就労環境の整備や生活の場を確保する。	対象者:知的障害者及び身体障害者 内 容:受注作業、清掃活動など 現在の登録者:13名
	予算額 10,130千円		
2	スマイルハウス 運営事業	障害者総合支援法に基づき、精神障害者の就労環境の整備や生活の場を確保する。	対象者:精神障害者 内 容:受注作業、清掃活動など 現在の登録者:8名 ※H29年度 作業所をともえ荘へ移転
	予算額 6,833千円		

2 公益事業

(1)受託事業/茨城県社会福祉協議会

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	日常生活自立 支援事業	認知症高齢者、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な方の支援を図る。	対象者:判断能力の不十分な高齢者、障害者等 内 容:福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理、預貯金の払い戻しや施設等の支払いをサポートする。 担 当:専門員(5名)、生活支援員(11名) 利用者見込み:20名程度 利用料:1時間 1,100円
	予算額 1,951千円		

(2)受託事業/銚田市

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	地域ケアシステム 推進事業 予算額 6,212 千円	在宅の高齢者や障害者 に対して、効果的かつ確 実な福祉・医療・保健の 各種在宅サービスを提供 するとともに、見守り活動 を図る。	対象者: ひとり暮らし高齢者、高齢世帯、障害者等 内 容: 民生委員や関係機関と連携し、援護を必要と する対象者に対して、在宅ケアチームを組織化 する。
2	通所型介護予防事業 予算額 3,244 千円	家に閉じこもりがちな高齢 者や要介護状態になるお それがある高齢者に対し て、社会的孤立の解消及 び介護状態になることへ の予防を図る。	対象者:家に閉じこもりがちな高齢者や要介護状 態になるおそれのある高齢者 内 容:運動、創作活動、食事など 回 数:銚田地区(月 4 回 年 48 回) 旭 地区(月 2 回 年 24 回) 大洋地区(月 2 回 年 24 回) 参加費:無料
3	在宅介護支援 センター事業 予算額 3,184 千円	要介護者となるおそれの ある高齢者等に対して、 安否の確認や各種サー ビスの情報提供を図る。	対象者:おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢 者及び高齢世帯など 内 容:秋津地区、巴地区の一部 訪問活動 回 数:定期訪問及び生活状況に応じた訪問
4	ファミリーサポート センター事業 予算額 3,030 千円	子育ての手助けを必要と している方(利用会員)と 子育ての手助けができる 方(協力会員)の登録に よる相互援助活動を行 う。	対象者:生後 6 ヶ月から中学校就学前の子育て の支援をしてほしい方(登録制) 内 容:保育園・幼稚園の送迎 保育開始前と帰宅後の預かり 学童保育からの帰宅後の援助など 回 数:利用回数制限なし 時 間:午前 7 時～午後 7 時 料 金:平日 1 時間 700 円 土日祝 1 時間 800 円 ※1 時間の利用料に対して、300 円の助成
5	子育て支援ヘルパー 派遣事業 予算額 100 千円	産前又は産後に体調不 良等のため、育児を行う ことが困難な世帯にヘル パーを派遣する。	対象者:妊娠中又は産後の体調不良等、多胎に よる妊娠中又は 1 年以内にある者 内 容:家事・育児に関すること。 料 金:1 時間 800 円
6	生活支援体制 整備事業 ※新規事業 予算額 2,820 千円	高齢や介護状態になった 場合でも、地域で生きが いを持ち生活が送れるよ う地域づくり体制の整備を 図る。	銚田市(第1層協議体を運営する) 社 協(第2層協議体を運営する) ※中学校区を第 2 層協議体の範囲とし、初年度 は銚田南中学区を範囲として、生活支援コーデ イネターを配置し、事業を推進する。

(3)指定管理事業/銚田市

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	いきいきプラザ 幸遊館管理事業	高齢者の研修、創作活動、健康増進の場の提供を図るため、施設運営を行う。	対象者:市民及び高齢者など 内 容:介護予防(リハビリ体操)に関する事業 各種団体の支援に関する事業 料 金:1,000円~3,000円 ※団体等は無料
	予算額 553千円		
2	老人福祉センター 管理運営事業	介護予防事業やレクリエーション等を通して、高齢者等の健康増進、教養の向上を図る。	対象者:市内外利用者及び高齢者など 内 容:入浴、カラオケ、講座など 料 金:60歳以上 200円 一般 400円(市内在住) 運 動:シルバー体操指導士会(年160回程度) 銚田市健康づくり財団(年100回程度) 講 座:なんでもがんばる講座(年12回)
	予算額 25,961千円		

3 収益事業

(1)老人福祉センター売店事業

番号	事業名等	目的	具体的な実施内容
1	老人福祉センター 売店事業	老人福祉センター内において、物品の販売を行う。	内 容:売店の運営、自販機の管理
	予算額 3,243千円		